

現 状	課 題	基本方針	具体的な施策	指標
<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を所有している人の割合 [アンケート] ● 自転車を日常的に利用している人の割合 [アンケート] ● 代表交通手段別分担率 [PT 調査] 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の多くが自転車を保有しており、日常的に使用している人も一定数いるものの、道路事情や地域特性等により使いづらいと考えている人が多い。 ⇒ 走行空間の改善等の利用環境の向上により、利用率が高まる余地がある。 	<p>(1) 自転車を活用したライフスタイルの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康増進・環境負荷軽減につながる自転車の価値をPR ②自転車通勤等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 自転車の利用促進につながる広報啓発 ①-2 健康増進・環境負荷軽減につながる広報啓発 ①-3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進 ①-4 自転車マップの作成 ②-1 自転車通勤拡大のための広報啓発 ②-2 エコ通勤運動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を日常的に（週 2、3 日程度以上）利用する人が市民の半数以上 現状値： 「ほぼ毎日」及び「週 2、3 日程度」の合計が 45.1%（「自転車の利用アンケート」）
<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の走行ルート [アンケート] ● 自転車走行時に危険と感じる箇所 [アンケート] ● 自転車通行空間の整備状況 ● 市営駐輪場の設置状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道が狭い（自転車が通行しにくい） ● 通行が多い（自動車、自転車、歩行者が混在） ⇒ 通行空間の改善の余地がある。 ● 一部の場所で駐輪スペースが不足している。 ⇒ 地域のニーズに応じた駐輪場を確保する必要がある。 	<p>(2) 自転車通行空間の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通勤・通学路の重点的な整備 ②目的やニーズに応じた駐輪場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 ①-2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用 ①-3 通行空間の利用方法、マナーの周知 ②-1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 ②-2 市営駐輪場の適正な管理・運営 ②-3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルラック等の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク計画路線の整備延長が〇km 以上 現状値： 整備延長 12km
<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車通行ルールの認知状況 [アンケート] ● 自転車通行ルール・マナー向上のためにすべきこと [アンケート] ● 自転車事故発生状況 ● 自転車賠償責任保険への加入状況 [アンケート] ● 自転車の点検・整備の実施状況 [アンケート] 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車、自転車、歩行者のそれぞれでルールやマナーの認識が異なっている ● 同じ自動車ドライバーでも自転車に対する意識が人によって異なっている可能性がある ● 「道路はみんなのもの」= 「シェア・ザ・ロード」という意識が低い。 ⇒ 誰もが安心して自転車を利用し、安全性を高める余地がある。 	<p>(3) 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①段階的な交通安全教育の推進 ②自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進 ③点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保 ④災害時における自転車の活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 世代に応じた交通安全教育の充実 ①-2 自転車交通安全に関する人材の育成 ②-1 安全な自転車利用につながる広報活動 ②-2 季別の交通安全運動等における街頭啓発活動の実施 ③-1 自転車保険の加入促進 ③-2 自転車の点検・整備の促進 ④-1 災害時における自転車活用に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車に関する事故件数が 15% 減 現状値： 235 件 (R1)
<ul style="list-style-type: none"> ● 観光地の分布と利用状況 ● サイクリングコースの設定状況（サイクリングマップの作成と配布） ● シェアサイクルへの期待 [アンケート] 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を利用した観光は一部にとどまっている。 ● 観光資源は豊富に存在している。 ● 交通アクセスの改善によって注目度は高まりつつある。 ⇒ 利用環境の向上、情報発信等により、観光振興の余地がある。 	<p>(4) 自転車を活用した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車走行環境や、サイクリストの受け入れ環境の整備 ②サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実 ①-2 利用拠点における利便施設の整備 ②-1 千曲川サイクリングロードの環境整備 ②-2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の 3 割以上 現状値： 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が 9.4%（「自転車の利用アンケート」）